古墳時代前期（4世紀）

軍配山古墳

玉村町を代表する古墳で、円墳としてはとても規模が大きいわ。

玉村町が開発された頃だね。

軍配山古墳

軍配山の名前は、天正10年（1582）の神流川合戦で、織田信長の家来滝川一益がここで軍配をふるったことに由来するそうだよ。

川井稲荷山古墳

4世紀と6世紀後半の2時期にわたり築かれたとても珍しい古墳よ。

- 時期―4世紀（1次）・6世紀後半（2次）
- 古墳の形―前方後円墳 か帆立貝式
- 大きさ―全長40m以上
- 主な出土品―円筒埴輪・三角縁神獣鏡
- 昭和43年（1968）、昭和53年（1978）に発掘
- 場所―玉村町川井

西日本では多く出土しているけど、東日本では群馬県の12枚が最高！

三角縁神獣鏡（群馬大学蔵）

これは鏡の裏側だよ。中国の神仙思想といわれる4人の神様、4つの神獣、4つの文字が表現されているよ。鏡の縁は断面が三角形になっていてとても珍しいものなんだ。有力な人が葬られた証だね。

これはすごい！

下郷天神塚古墳

関越自動車道が通っている所よ。

- 時期―4世紀後半
- 古墳の形―前方後円墳
- 大きさ―全長約90m、高さ約9．1m
- 主な出土品―鏡・管玉（アクセサリー）・器台形埴輪
- 昭和51年（1976）～52年（1977）に発掘
- 場所―玉村町八幡原

出土品は、東京国立博物館に所蔵されている！

行ってみよう！

パラパラをくっつけると・・・こうなります！

器台形埴輪…円筒埴輪の原型となるもので、壺をこの上に乗せて使用

器台形埴輪／写真提供（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団

古墳時代中期（5世紀）

このころから人や動物の埴輪が多くつくられるようになるよ。

梨ノ木山古墳

玉村町に残る古墳のなかでは一番大きいわ。

内堀、外堀をめぐらせた広大なお墓だよ！どんな人が眠っているのかな？

梨ノ木山古墳

- 時期―5世紀後半
- 古墳の形―前方後円墳 か帆立貝式
- 大きさ―全長約50m（後円部直径約38m）、高さ約7m
- 主な出土品―勾玉・円筒埴輪・刀子（小刀）
- 昭和41年（1966）、42年（1967）、44年（1969）に発掘
- 町指定史跡
- 場所―玉村町下茂木1027ほか

行ってみよう！

古墳時代後期（6世紀）

小泉大塚越３号古墳

刀や冠など黄金の品々がたくさん見つかっているわ。

古墳時代のなかで最も栄え東国古墳文化が花開いた時代だったんだよ！

江戸時代の浅間山噴火で押し寄せた泥流の下から発見されたよ！芝根小学校を建てるときに発掘して、石室（石造りの死者を葬る部屋）だけ校内に保存されているよ。

ほ～ら！古墳の形が出現だ～！

空から見た小泉大塚越３号古墳

単鳳環頭大刀

↑これは刀をにぎるところ

光りかがやく刀だ～！

円筒埴輪356本がならんでいる！

古墳の北側ふき石と埴輪列

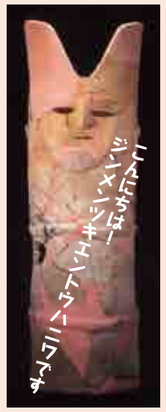
環頭大刀…県内からは約30点、うち玉村からは5点が出土！

大刀…古墳時代を代表する武器の一つ。

もとはこういう形

前橋市山王金冠塚古墳出土　冠複製品

かんむりのかけらだよ！


こんにちは！ジンメンツキエンドウハニワです

小泉大塚越7号古墳出土人面付円筒埴輪

- 時期―6世紀後半
- 古墳の形―前方後円墳
- 大きさ―全長約46m
- 主な出土品―環頭大刀・冠・金属製品・玉類・人物埴輪・馬形埴輪・円筒埴輪356本
- 平成元年（1989）、8年（1996）～10年（1998）に発掘
- 場所―芝根小学校（玉村町飯倉）

出土品のうち276点が県の重要文化財になっている！

小泉長塚１号古墳

考古学者も感動？！朝鮮半島でつくられた可能性のある環頭大刀が発見されたよ！

小泉長塚1号古墳石室

両方の古墳から出土した環頭大刀の輪っかの中には鳳凰が表現されているよ。鳳凰は伝説の動物で10円玉（平等院鳳凰堂―京都）や1万円札にも描かれているわね。

石室からは推定15体の人骨が見つかったんだよ！

ちょっぴりこわいね・・・

- 時期―6世紀後半
- 古墳の形―円墳 か前方後円墳
- 大きさ―全長不明
- 主な出土品―環頭大刀・冠・金属製品・玉類・人物埴輪・馬形埴輪・人骨・耳環
- 平成2年（1990）～3年（1991）に発掘
- 場所―玉村町小泉

出土品のうち244点が県の重要文化財になっている！

歴史資料館に展示中

人物埴輪・馬形埴輪

刀の長さ約92cm！こちらの大刀にはあごひげがあるね！

単鳳環頭大刀

このデザインは日本でただ一つ！とっても貴重な大刀！

冠の破片

かんむりも出土！